

オナモミを育てよう 2019.5

加藤

オナモミは、くっつき虫として子どもたちに人気があります。種の散布の教材として、ぜひ子どもたちに渡して遊ばせたり、くっつくしくみを観察させたいものです。

しかし、自然に生えているものはなかなか見つけることはできません。そこで、種から育て栽培しましょう。秋には一株からたくさんの種を収穫することができます。



5月中旬 種まき

洗面器に土を厚さ3cmぐらい入れ、オナモミの種（実）を蒔きました。土の湿り気を保つように水をやりました。一週間ぐらいで子葉（双葉）が出ました。



6月上旬 ポットから鉢に植替え

5月下旬には、ビニールのポットに一つひとつ植え替えて育てました。

6月上旬、20cmぐらいまで育つとポットでは小さいので大きな鉢に植え替えました。時々、肥料も与えました。



8月 鉢から畑に植替え、下旬には花芽が

8月には1mぐらいまでに育ち、根が鉢いっぱいになり広がります。暑い夏は水やりを忘れて土が乾いてしまうと葉がすぐしおれてしまうので、畑に植替えました。



8月下旬になって、茎の枝分かれているところから、やっと花芽が出てきました。雄花と雌花に分かれています。



9月 花が咲き、実が育つ

左は9月15日ごろの花の様子、右は9月30日ごろの実が育ってきたときの様子です。



11月 収穫

実が茶色になり、下に落ちるようになるころ、茎からラジオペンチなどでむしって（トゲで痛いので）収穫しました。1株から200個ぐらいの実を収穫。実を割ってみると、中に種が2個入っていました。

